

審議会等の会議結果報告書

課所名	生涯学習課 博物館
-----	-----------

会議名	令和3年度 第1回諏訪市博物館協議会
-----	--------------------

開催日時	令和3年7月28日(水) 午前10時00分～11時30分
------	------------------------------

出席者	委員 樋口公男委員長 平林富美子副委員長 岩波美保委員 北島和孝委員 小林健治委員 五味一郎委員 古畑しずゑ委員 溝口純永委員 宮坂早苗委員 柳平正司委員 事務局 小島教育長 細野教育次長 小林課長 小口館長 児玉学芸員 三澤学芸員 オブザーバー 岩波教育委員
-----	--

資料	令和2、3年度事業報告・令和3年度事業予定・館外収蔵施設移転準備事業の進捗状況について 配布物(資料) ミュージアムパスポート、特別展チラシ、オンラインフォーラムチラシ他
----	--

報告・協議事項及び会議結果（要旨）

■報告事項：令和2、3年度事業報告・令和3年度事業予定・館外収蔵施設移転準備事業の進捗状況について

質問・意見

- ・博物館は交通の便が悪いが、子供たちに気軽に足を運んでもらえる「夏休み、かりんちゃんバスに乗ろう！」の企画（地域戦略・男女共同参画課）はとても良い。
- ・集客には目を引く案内看板を道路側に大きく出して人を呼び込む工夫をしたほうが良い。
- ・コロナ禍で、どこの博物館も様々な制約の中でイベントを開催することが大変な中、YouTubeを利用して講座（すわ大昔フォーラム）を視聴できるようにしたことはとても良い。講座に出向くのが難しい時など、後からいつでも見られる点が良い。
- ・YouTubeチャンネルなどを活用した取組はアイデアに富む今までにない取組で、オンラインであれば多数の人が視聴することが可能になるという利点がある。
- ・デジタル化時代では、博物館もリアルとYouTubeの両方を使って発信していく必要がある。
- ・今開かれている特別展「写真で振り返る諏訪市の80年」は撮影可能ですごく良い。小学3年生の地域探検学習に早速活用し、写真を用いて説明したら子ども達が興味関心を強く示した。
- ・「諏訪の歴史」のDVDが人気のようなのだが、一般の人がこれを見る機会はあるか。
→すわ大昔情報センターにDVD視聴のスペースがあり、いつでも視聴できるようにしている。
- ・学校でも新しい生活様式をどのようにすればよいかは課題であるため、博物館のコロナ対策や、入館者増につながる展示の工夫を学びたい。
- ・博物館から子ども達に働きかけをすることは素晴らしい。その子ども達が大きく育ってまた来館してくれる。博物館への関心が形になり広がっていくのではないかと思う。
- ・技術によって機械的に大勢の人に発信できて、大勢の人が受け取れるという流れも素晴らしいが、資料や史跡などの物語を子供たちに語り継いでいきたい。
- ・この博物館の特徴は諏訪信仰とつながりがある点、また諏訪市にお城（高島城）があったこと、その辺を据えれば展示の見直しにつながると思われる。
- ・現在行っている資料調査によって収蔵品がきちんと整備されることで、新たな企画に結びついて展示がやりやすくなり、資料の情報発信にもつながる。
- ・今80周年の写真展を行っているが、この機会に昔の写真の提供を呼びかけてはどうか。
→広報などで写真の募集を行い、今までに1,500枚を超える提供を受けている。